

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		配水場管理事業					②事業番号		6206										
③事業類型		4. 施設等維持管理事業			④開始年度		昭和	33	年度		⑤終了予定年度	年度	○	設定なし					
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 条例		○ 規則		○ 要綱		○ 計画等		○ その他		法令等の名称		水道法			
⑦実施手法		○ 直営		○ 全部委託		○ 一部委託		○ 補助・負担		○ その他									
⑧関連予算科目コード				款		B		項		1		目		1		細目		11・16	
⑨担当部名				⑩担当課名									会計		水道事業会計				
上下水道部				上水道工務課															

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 配水場	① 配水場箇所	箇所
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか) 大阪広域水道企業団水の受水及び配水を行い、配水場等の運転管理、衛生管理、場内清掃、配水池等のメンテナンス又、テロ対策等各配水場監視業務を行う。	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
	① 配水日数	日
	② 修繕数	回
	③ 点検回数	回
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか) 配水池等を適正な水位及び衛生的な状態に保ち又、配水場内の不法侵入者等の監視業務を行う。	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
	① 配水停止日数	日
	計算式	
	②	
	計算式	
	③	
	計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連) 配水池等適正な水運用がされ、各配水区が安全で安定した市内配水の充実が図れる。	総合計画体系上の位置付け	
	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします
	施策中	3 上水道の充実
	施策小	3 上水の合理的な配分

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	配水場箇所	箇所	1	5	5	—	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②						—	—	
活動指標①	配水日数	日	365	365	365	—	—	
活動指標②	修繕数	回	2	2	2	—	—	浄水場管理事業から配水場管理事業に変更になり、各事業費等を見直しました。
活動指標③	点検回数	回		53	52	—	—	
成果指標①	配水停止日数	日	0	0	0	—	—	
成果指標②						—	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③						—	—	
事業費	投入人員	人	0.85	0.95	0.95	—	—	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	—	—	H28→H29 配水場・浄水場管理 事業から配水場管理 事業に変更になった ため
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	—	—	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	—	—	
事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	6,826	7,629	7,702	—	—	
	直接事業費	千円	924	8,830	14,824	—	—	
	総事業費	千円	7,750	16,459	22,526	—	—	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	—	—	
	府支出金	千円	0	0	0	—	—	
	受益者負担金	千円	7,750	16,459	22,526	—	—	
	その他特定財源	千円	0	0	0	—	—	
	一般財源	千円	0	0	0	—	—	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	配水場等設置にともない。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	配水場管理業務は、衛生面はもちろん各配水区の配水量を把握し震災時等に対応できる池残量も必要であり又、テロ対策等の重要性もますます求められてきている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	この事務事業を行うことで、各配水区の上水の合理的な配分に活用でき安定給水が行える。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい ウ. いいえ	水道料金により行っているため。(独立採算性)
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	各配水場等からの安定給水を行うために必要な事業であり合っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	配水場の運用を行っている以上事業の休止・廃止はできません。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **A**

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	現在、予定通り配水場等の運転管理を行っている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	すべての配水池が耐震化することで、上水道の充実が図られる。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	今後も、安全で安定した水の供給に努め災害時等の水の確保を行なえるように事業を進める。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)
	<今後の展開方針> - 重点化する(集中的なコスト投入) - 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) - 効率化する(コストを下げる) - 簡素化する(規模を縮小する) - 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	令和4年度で、中央配水場更新工事を終了し市内配水のより良い充実を図る。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—